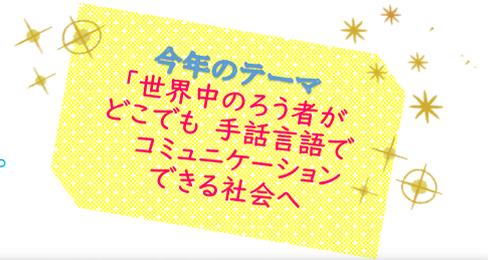




みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

## 9月23日は 手話言語の国際デー ブルーライトアップ

青色は世界ろうあ連盟(WFD)のロゴ色で、世界平和を表す色です。  
佐賀県、佐賀市、唐津市、武雄市、嬉野市、太良町で実施。



- ①佐賀市筑後川昇開橋
- ②佐賀県庁旧館
- ③唐津市 唐津城
- ④ポートレース唐津
- ⑤武雄市庁舎
- ⑥嬉野橋
- ⑦太良町役場本庁舎



③

④



②



⑦



⑤



⑥



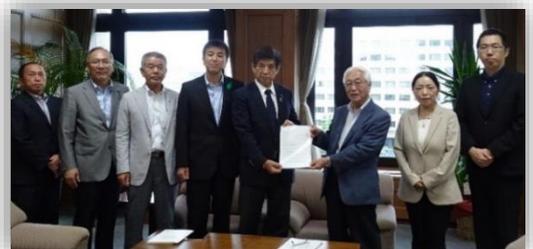
写真は関係自治体、中島和次さん、井上恵美子さん、香田佳子さんから提供して頂きました。



### 県議長に要望

県議会本会議質疑の手話通訳の付与について9月15日大場議長、坂口副議長へ岡口、中本、田中県議が同行して6団体名で2月に続き、2回目の要望をしました。5月に正副議長の交替、半導体不足等による関連機器の整備も進展したこと等から再度の要望となりました。ろう者の文字情報の認識や手話言語独自の文法等の特性等々について熱心に聴取されました。

今後実施に向けての課題について、議長から事務局長と検討事項を詰めるように指示がありました。





「聴こえが悪くなるとどうなる？難聴と認知症との関係」

# 最大のキギは「きこえ」にある

講師：齋藤実氏 GNヒアリング・ジャパン(株)  
トレーニング&ビジネスサポートマネージャー



9月17日サポートセンターで講演と試聴体験、相談会を開催しました。参加者は30名。



今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気です。  
その認知症の最大のリスク因子は難聴(8%)つまり、認知症対策の最大のキギが「きこえ」にあります。  
(他には加齢・高血圧・糖尿病・喫煙・頭部外傷等)  
認知症高齢者の見込み推計 2025年約700万人  
=65歳以上5人に1人

## 難聴とは

- ・聴覚系の何らかの異常により音を聴くことが難しい。
- ・高い音が聞き取りづらい。
- ・複数人の会話で一人の声を選ぶことができない。
- ・必要な生活音や音楽が思うように聞こえない。



聴こえが衰えてきたかなと思ったら、早めに耳鼻咽喉科専門医や補聴器相談医に相談しましょう  
⇒補聴器装用の検討は、認定補聴器技能者の在籍店舗でお試し体験しましょう。

難聴の多くは感音難聴  
内耳・蝸牛神経・脳の問題  
このうち加齢性難聴が7割 治療・投薬では治すことができない。

### 特長：

- ・本人は気が付きにくい。
- ・大声で話す。
- ・怒っているみたい。
- ・声をかけても無視されたと言われる。



試聴体験  
・相談会



- Q 40歳代から耳鳴りが続いている。難聴と関係あるのか。  
⇒耳鳴りは難聴による聞こえにくさを補うため脳が興奮して引き起こされている。  
補聴器装用は耳鳴り治療方法のひとつ。耳鳴りで不眠や仕事に支障をきたしている場合、病院で耳鳴り治療を受けている方もいる。
- Q 認定補聴器技能者とは。  
⇒テクノエイド協会が認定する業界内の資格。  
取得するには4年程の研修を受ける。  
有資格者は全国で5,000人以上。

編集後記：ようやく秋らしくなってきました(m)

**要予約**

## 巡回聴こえの相談

聴こえについて、不安を感じることはありませんか？  
まずは自身の聞こえにくさの程度を確認してみましょう。  
測定・相談は無料です。

11月21日(火)  
10時～15時 上峰町おたっしや館

12月14日(木)  
10時～15時 諸富支所

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)  
TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705  
メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp  
ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>  
9：30～18：00  
<閉館日>  
毎週月曜日、祝日、年末年始